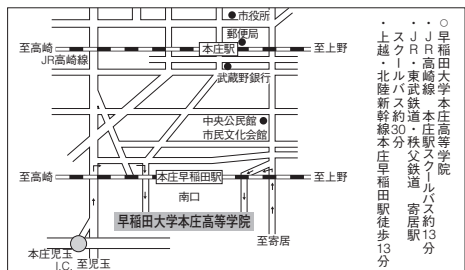


わせだ だいがく ほんじょう 早稲田大学本庄高等学院

〒367-0032 埼玉県本庄市栗崎239-3 ☎0495-21-2400 学院長 半田 亨



カリキュラムの特色

早稲田大学の附属校なので、進学条件を満たした生徒は全員が早稲田大学に進学できます。とかく視野が偏狭になりがちな受験勉強に煩わされることのない、教育本来の姿を志向しています。知的関心を高め、論理的な思考力、豊かな感性を育成し、さらに大学における専門的な学問研究の分野も模索させ、それに必要な基本的な学力・体力を養成することを目指します。

また、確かな基礎学力に加え、思考力・判断力・表現力や主体性をもって多様な人々と協働する態度など、真の「学力」を兼ね備えた人物を育成する観点から、2022年度入学生から新カリキュラムを導入しました。1・2年次は全員が共通科目で学び、3年次から文理コース分けを導入し、大学での専門へと接続するカリキュラムを組んでいます。

また、3年間の学習のまとめとして、すべての学院生に卒業論文の作成を課しています。「自ら学び、自ら問う」という教育方針を具体化したもので、①長文を書くことによって自分自身の考え方を確認する、②学部進学への自覚を促進する、などの学習効果をねらっています。テーマは、選択科目に関連したものや、学院周辺の自然や地域に関連したものなどもあります。

生徒の独創性を重視した独自のカリキュラムと、教育への熱い情熱を持った各教科の教師陣によって、創意あふれる教科の指導が行われています。

〈URL〉 <https://www.waseda.jp/school/honjo/>

沿革 明治15年(1882)、大隈重信により創設された早稲田大学(当時の名称は東京専門学校)が、創立100周年を機に、早稲田大学の附属高校として昭和57年(1982)に本庄高等学院を創立。平成19年(2007)男女共学。平成24年(2012)、新校舎、早苗寮(男子)が完成。平成30年(2018)梓寮(女子)が完成。令和2年(2020)には体育館が完成。

校風・教育方針

早稲田大学での生活を含めた7年間をトータルに考え、受験のための詰め込みや知識偏重の画一的な教育ではなく、ユニークな個性、才能の育成をめざし、学力・体力・気力、さらにプラスアルファを養う教育を行っています。

プラスアルファを養うためのポイントとして、以下の4つを掲げ、自由と創造に満ちた教育を行っています。1.「自ら学び、自ら問う」学習の基本姿勢の確立 2. 総合的な理解力、独自の批評精神を含めた個性的な判断力の養成 3. 知識と実行力の結合 4. 人間、社会、自然に対するみずみずしい感性の育成

男女別募集定員

2024年度の募集定員は下記の通りとなります。

募集定員	男子	女子
一般入試	約100人	約70人
帰国入試	約15人	約10人
α選抜	約45人	約30人
I選抜	約20人	

国際教育

国際化・情報化の新しい力の1つとしてのCCCP(Communication, Collaboration, Creation, Presentation)を総合的に養成するため、授業のほかにも他校や他国の生徒との交流プログラムを導入しています。単なる会話の交換ではない学術交流プログラム等にも参加しています。また、3年次の修学旅行は、韓国、台湾、中国に分かれ交流校を訪れます(年によって行き先は変更になる場合があります)。

環境・施設設備

前景に本庄市街を見下ろす、広大な丘陵地の大自然の中に早稲田大学本庄高等学院は立地しています。2012年に、新校舎と早苗寮(男子寮)が、2015年に、図書館、稲穂ホール、音楽室を備えた稲穂ホール棟が竣工しました。2018年には、新たに梓寮(女子寮)が竣工し、男女合計256人の寮定

員を有する体制を整えました。

生活指導・心の教育

独創的で自由な考え方ができる、個性的な人間の育成をめざしています。自分の個性を大切にすると同時に多くの人々と出会い多様性を尊重できる、心豊かな早稲田人となり、スケールの大きな人間として成長できるようにサポートしています。

学校行事・クラブ活動

5月の早慶戦観戦を皮切りに、体育祭、キャリアデザインウィーク、芸術鑑賞教室、稲穂祭(文化祭)など、年間を通して多彩な行事が実施されています。

クラブは、文芸、スーパーサイエンス、プラスバンド、ピアノ、囲碁・将棋などの文化部21部、陸上、サッカー、ラグビー、野球、剣道、テニス、スキーなどの運動部15部が活発に活動しています。

データファイル

2024年度入試日程

募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日
α選抜 約75	郵12/18~1/5 (必着)	1次書類選考 2次1/23	1/15 1/25	1/29*
帰国生(I選抜) 約20	郵12/18~1/5 (必着)	1次書類選考 2次1/23	1/15 1/25	1/29*
帰国生 約25	郵1/11~1/25 (消印有効)	2/9	2/12	2/16*
一般 約170	郵1/11~1/25 (消印有効)	2/9	2/12	2/16*

※オンライン申請 16時締切

入学手続に関する詳細は入試要項をご確認ください

2024年度選考方法・入試科目

推薦: <α選抜(自己推薦)>第1次選考:書類審査 第2次選考:面接【出願条件】9科2年次38・3年次40 9科に2以下を含まない 欠席3年間30日未満で、①②③のいずれかに該当する者。
①学校内外の活動等を通じ、文化・芸術・スポーツなどの分野において都道府県以上の大会で優れた成績をあげた②資格・技能試験等で優れた成績・評価を得た③学業において総合的に極めて優秀であり、学校内外で積極的な諸活動を行った

<I選抜(帰国生自己推薦)>第1次選考:書類審査 第2次選考:基礎学力試験(数学、国語、各30分)、面接
一般・帰国:英語、数学、国語

※帰国生(I選抜を含む)は事前に出願資格の認定を受けることが必要

〈配点・時間〉国・数・英=各100点50分

〈面接〉生徒個人面接(α選抜・I選抜の1次合格者のみ)

2023年春併設大学への進学

進学条件を満たした者全員が早稲田大学に進学できます。卒業生308人。

早稲田大学-303(政治経済73、法35、文化構想21、文16、教育14、商32、基幹理工38、創造理工28、先進理工13、社会科20、人間科0、スポーツ科0、国際教養13)

2023年度入試結果 男/女

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
一般 男約100女約70	1,796/774	1,744/741	493/228	3.5/3.3
帰国 男約15女約10	108/70	99/63	40/24	2.5/2.6
α選抜 男約45女約30	97/133	56*/46*	46/32	2.1*/4.2*
I選抜 男女約20	81	39*	21	3.9*

*α選抜・I選抜の受験者数は1次試験合格者数
※α選抜・I選抜の競争率は志願者数÷合格者数

学校説明会(ホームページで申し込み)
9/30 11/4

見学できる行事(詳細はホームページ参照)
稲穂祭(文化祭) 10/28・10/29